

資料 4

令和 6 年度 和光市男女共同参画年次報告書

概要版

令和 8 年 月

令和6年度和光市男女共同参画年次報告書は、和光市における男女共同参画の現状と課題、各分野のデータ及び施策の進捗状況をまとめたものです。

人口動態、教育、就労、福祉、社会参画及び市職員の状況などについて、男女共同参画の実現に向けた現状分析と今後の課題を示しています。

## 和光市の概況

和光市の人口は、増加傾向にあります。ただし、15歳未満の人口は減少傾向にあり、20～59歳の人口が多い都市型構造が特徴になっています。

また、外国人住民の人口が約3.6%を占め、多様性が進展しています。

世帯数も増加傾向にあり、単身世帯や高齢者世帯の割合も上昇しています。

## 人口動態

人口は増加していますが、出生数は減少傾向で、合計特殊出生率は全国・埼玉県を平均を下回ります。令和6年度は、転入・転出による社会動態増減が減少し、自然動態（出生－死亡）も減少傾向です。

## 結婚・離婚

婚姻率は、過去5年間、全国・埼玉県の平均を上回っていますが、令和5年には離婚率も全国・埼玉県を上回る水準に上昇しており、家族形態の多様化が進んでいます。

## 教育

小学校の女性教職員比率は50%超、中学校は50%未満です。管理職教員の女性比率は小学校で20%台、中学校で30%前後と、全国平均より低い傾向にあります。

また、令和7年4月時点で、教育委員会は、教育長と5人の委員の構成となっていて、男女比は2：1の割合となっています。

## 中学校卒業後の進路

中学校卒業者の男女比はほぼ変化がなく、男女ともに県内全日制公立高校への進学が多数を占めています。

## ドメスティック・バイオレンス（DV）

令和4年度からDV相談件数が増加しています。警察庁調査でも配偶者暴力相談は増加傾向となっています。埼玉県のDV相談の約80%が市町村で受理されており、基礎自治体の役割が大きくなっています。

※令和5年度までは「事例件数」で計上していたが、令和6年度からは「対応件数」で計上。

## 女性相談

毎月第2・4火曜に女性の専門カウンセラーによる女性相談を実施しています。

令和6年度の相談件数は減少しています。「自分自身」に関する相談が最多で、家族・夫婦関係、暴力、心の問題が続きます。

## 男女共同参画苦情申立て

和光市男女共同参画推進条例に基づいて、苦情処理窓口を設置しています。委員は男女各1名で、令和7年3月31日現在、申立件数は0件です。

## ひとり親家庭制度・生活保護

ひとり親家庭医療費助成の登録・支給対象者数は減少傾向にあります。児童扶養手当の支給理由は「離婚」が最多、次いで「未婚」が多くなっています。

生活保護世帯数は増加傾向で、被保護世帯のうち母子世帯は全体の約3.1%となっています。

## 女性の就労状況

かつての「M字カーブ」は浅くなり、結婚・出産期の就労女性が増加しています。和光市でも同様の傾向が見られます。

正規雇用比率は男性より低く、20代後半以降は「L字カーブ」となり、非正規雇用化が進んでいます。

## 保育園の状況

「第2期子ども・子育て支援事業計画」に基づき基盤整備を行っています。保

育園在園児数は横ばい、待機児童数は解消傾向です。一時・休日・病児保育利用者数は令和5年度から減少しています。

## 健康・福祉

新規 HIV 感染・AIDS 患者報告数は 2013 年をピークに減少しています。20～39 歳の罹患率が高くなっています。埼玉県の実績は横ばいとなっています。

## 女性の社会参画

和光市議会の女性議員比率は全国平均・埼玉県平均を上回っています。審議会等の女性委員割合は 32.3%で横ばいとなっています。

## 市職員の構成

令和7年4月1日現在、女性職員比率は 47.7%、主査級以上の女性比率は 39.3%で、全国平均・埼玉県平均を上回っています。

会計年度任用職員における女性職員の割合は、フルタイム 91.1%、パートタイム 80.8%と高い水準にあります。

## 市役所における子育て等休暇制度の利用

「子の看護等休暇」「男性の育児参加休暇」「育児時間休暇」「育児休業」「部分休業」「介護休暇」など、多様な制度を整備しています。男性の育児休業取得率は、令和5年度 66.7%、令和6年度 50.0%と高水準で推移しています。

会計年度任用職員も子の看護等休暇や育児休業の取得実績があります。

## 第4次和光市行動計画 男女共同参画わこうプランの取組状況

各課の施策に対する取組状況については、別添資料のとおりとなっています。